

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

ロータリー：変化をもたらす

2017-2018年度 国際ロータリー会長 イアン H.S. ライズリー



2017-2018年度

会長：加藤一郎 幹事：福田哲三 クラブ会報委員長：花橋日出夫

創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30

例会場/ウェスティンナゴヤキャッスル 名古屋市西区樋の口町3-19 〒451-8551

事務局/TEL 052-684-6591 FAX 052-684-6592

2018 January 24

■ 2017~2018 年度方針

Enjoy Rotary—

Enjoy Nagoya Wago Rotary Club

NO.27

例会報告

●第2206回例会 平成30年1月24日(水)曇

●1月は職業奉仕月間

●ロータリーソング 我ら愛あるロータリアン

●出席報告 会員 93 (82) 名中 出席55名

出席率67.07% 修正出席率77.35%
(1月10日分)

●ニコボックス

「久し振りに卓話をさせていただきます。宜しくおつき合
下さい。」 富島照男君

「先週は、お休みいただきました。帰って来てウィーク
リーの遅れで富島先生の卓話のご案内が出来なかつ
たと聞きました。申し訳ありませんでした。卓話は大
変楽しみにしております。」 加藤一郎会長

「富島先生、きょうの卓話を楽しみにしています。久し
振りの富島節をお聞かせ下さい。」 吉田正道君

「新年が明けて初めての出席になりました。ニコボッ
クス委員会の皆様に迷惑をおかけしました。」

加治佐健二君

本日のニコボックス 4件 19,000円

累 計 143件 1,297,000円

福田哲三幹事報告

▽当クラブ行事予定

・1月31日(水) 例会終了後、理事会を開催致し
ます。

※理事及び役員のご出席をお願い致します。

・2月14日(水) 名古屋名城RAC合同夜間例会
です。

ローターアクトとの合同例会のため、18時30分~となります。

場所はウェスティンナゴヤキャッスルです。

※お昼の例会はございません。

・2月21日(水) 例会終了後、理事会を開催致し
ます。

※理事及び役員のご出席をお願い致します。

※春の家族会の日程が変更となりました。

5月19日(土)・20日(日)を予定しておりましたが、
5月20日(日)・21日(月)に変更になりました。

※本日、春の家族会日程変更のご案内を配布して
おります。

加藤一郎会長挨拶

先週は上海出張のため、例会をお休みしました。

中国ではワイヤーロープの玉掛け加工を行っています。建設工事で使用する物を吊り上げるためのロープの両端に、引掛けるための輪を加工した製品です。

今から30年ぐらい前の1989年9月に契約し、その年の12月はじめに第1号製品を完成させたのが始まりです。その年の6月には天安門事件が起こり、日本の報道では、国中を戦車が走り回っているような状況が報じられていました。しかし、到着した上海虹橋空港で、エールフランスの貨物機から荷物がどンドン降ろされいるのをの目の当たりにして、政治外交的には中国の政策に反対している国でも、経済は別で、商業ベースでは「どンドン商売しろ！」という現実を見て、日本の報道は正確ではないと感じ

ました。

さて、現在中国のワイヤーロープ工場では、若いスタッフが育ってきており、私の会社でも子供が実績を積んできております。これからは、彼らに時代に合った感覚で仕事してもらうよう、相手側と方向付けの話し合いをしてきました。我々民間ベースでは、双方が利益が出るよう画策していきます。中国については経済不安も言われていますが、信頼関係ができていけば先は明るいと考えています。

卓 話

「判りやすく、為になる」－死刑のお話し－

会員 富 島 照 男

1 はじめに

昨年12月、日経新聞は「2人の元少年らの死刑が執行されたこと」を報じ、先週の中日新聞は、「オウム事件の全裁判が終結し、死刑確定者13人の執行の検討が本格化した」と一面トップで特報。死刑への関心が高まって来ている。



私は職業分類「民事弁護士」ではあるが、かつて監獄法改正作業に、日弁連代表として10年近くかかわった立場から、このテーマを選んだ。

2 我が国の死刑制度は合憲か？

刑法11条は「死刑は刑事施設内において絞首して執行す」と定め、最高裁判例でも「死刑そのものは憲法36条で禁ずる公務員による残虐な刑罰に当たらない」とし、死刑制度存置を是認。しかし、「執行方法が時代・環境に照らして人道上の見地から残虐と認められる場合」は、違憲となりうる一とする（昭和23年・平成5年最高裁）。江戸時代の「はりつけ・火あぶり・斬首」は残虐。とりわけ、市中引回しの上、首をはねられさらし首にされる「獄門」は、執行方法が残虐すぎて、現在なら違憲！

3 世界的傾向は…

1989年国連採択の「廃止条約」にそって制度を全廃乃至制度は残しつつ、執行を行わない国が続出（ヨーロッパ全部、アメリカ23州など141ヶ国。存置国はアジア中心に約50ヶ国余）。

死刑制度の廃止や抑制的運用は世界的な流れ。

4 裁判実務での運用は…

我が国の死刑判決は減少傾向。いわゆる「永山基準」（昭和58年7月最高裁判決）に則り、殺害手段・方法の執拗性、残虐性や被害者の人数（原則2人以上）その他を併せ考慮し、極刑がやむを得ないと認められる場合に限って、慎重に自省的に運用。

5 死刑判決数と執行者数は…

毎年平均11件～12件言い渡され、その半分足らずの毎年6～7件が執行される。

従って、毎年未執行者が累積し、現時点では120名余の未執行死刑囚がいる。

執行者が少ないのは、法務大臣が執行指揮者に署名をしぶることと、法務当局も執行に慎重であるため。年毎にばらつきが多い（最近10年で、1年最高16人から0の時も…）。

6 現在の執行方法に残虐性はないか？

現行の方法は、明治6年太政官布告による「地下堀割式」で、「絞縄ヲ首領ニ施シ咽喉ニ当ラシメ鉄環ヲ頂後ニ及ボシ機車の柄ヲ挽ケバ踏板開落シテ囚身地ヲ離レ、一尺空ニ懸ル。5分間死相ヲ驗シテ解下スル」という一種の「つるし首」による方法が採用され続けている。ボタンを押す刑務官は5名－この方法に果たして残虐性はないのか。

7 今後の動きは、どうなるか…

近年、日弁連や日本基督教団など多数の団体から死刑制度の廃止乃至見直しが提唱されている。

とりわけ、今年はオウム事件の13人の執行がいつ行われるのか。また、これから裁判が始まる「座間事件」（9人）、「やまゆり園事件」（16人）などの判決の行方は？死刑に替わる「終身刑」の採用の是非など、死刑が話題となる年となるろう。

例会	月日	今後の予定
第2207回	1. 31	よろず相談・宙(SORA) 代表 鈴木康代さん 「最近の教育について」
第2208回	2. 7	元岩手県知事、元総務大臣、東京大学公共政策大学院客員教授、野村総合研究所顧問 増田寛也氏 「地方創生の課題」 (例会時間12:30～14:00となります)
第2209回	2. 14	名古屋名城RAC合同夜間例会 18:30～ ウェスティンナゴヤキャッスル (お昼の例会はございません)
第2210回	2. 21	田尻幹夫国際奉仕委員長 長坂シェリル氏(英語教室経営) 「フィリピンの今 (日本在住15年からの視点)」
第2211回	2. 26 (月)	東名古屋分区IM開催 ウェスティンナゴヤキャッスル 受付 15:00～ 式典・講演 16:00～18:00 懇親会 18:15～20:00 (2/28(水)の例会はございません)

○このウィクリーは再生紙を使用しております。